

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス リアン府中白糸台		公表日		令和6年12月25日
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標・工夫している点・取り組み状況など	
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	ガイドラインに示された目安より広いスペースを確保している。自由遊びの時間に、死角となる箇所が生じないよう、複数の職員で見守るようにしている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	4	職員の性別、専門領域、経験年数等を考慮し構成している。外出時は、安全確保の観点から職員を増員して対応している。 【意見等】・たまに不適切(不足)な日がある。・不足している日もある。・緊急時に備え基準プラス1名の配置があると安心。・職員が少な過ぎる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3	水道設備設置の都合上、段差が生じた箇所があるため、お子様によっては手を添えるなど歩行をサポートしている。生活空間の構造化・視覚支援については改善の余地がある。職員間で気づきや意見を出し合っている。 【意見等】・バリアフリーになっていない。・玩具の配置等工夫していく必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	日々の清掃・消毒を徹底している。1フロアを、活動空間とゆっくりと寛げる空間に分けている。宿題や制作に集中して取り組みたいお子様には、静養室や相談室を活用してもらっている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	体調や気分によっては、集団での活動に負担を感じるお子様もいる。一時的に静養室で過ごしてもらう場合がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	4	事業所としての課題を共有し、解決へ向けて意見交換していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	いただいた評価・ご意見については、全職員に共有し改善へつなげている。 【意見等】申し出があった事柄に対しては、誠実に対応するようにしている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	業務前ミーティングを行い、意見交換の場としている。 【意見等】職員間（特に非常勤職員）で話し合う時間が短い。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	7	現在のところ、第三者評価を行っていない。虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会には、他法人より第三者委員を招聘し助言をいただいている。 【意見等】・外部評価しているかどうかかわからない。・今後行っていく必要がある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	虐待防止・身体拘束適正化・BCP・感染対策などの研修を定期的に行っている。障害特性の理解や支援方法についての研修もさらに充実させていきたい。 【意見等】動画視聴が中心。資料等を共有するなどしている。外部研修を受けるための時間がなかなか作れない。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	ガイドラインの児童発達支援5領域について明示した活動予定を公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	2	6ヶ月ごとの職員間の支援会議、保護者面談を通して、変化するニーズや課題の把握に努め、計画に取り入れている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	2	日頃から、職員間で意見交換を行い、より適切な支援につながるよう努めている。短時間勤務の非常勤職員に対しても、漏れなく共有できるようシステムを見直していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	2	個別支援計画更新時には共有を図っているが、時期を問わず(複数回)全職員が確認する機会を持っていく。 【意見】・考慮されていると思う。・充分ではない。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	3	アセスメントツールを十分に活用できるよう、専門職による研修も検討していく。 【意見等】標準化されたアセスメントツールがあるものの実行までには移れていない。標準化されたツールの使用を充実させていく必要がある。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2	令和6年4月の法改正に伴い、新様式の計画書に移行している。今後、よりお子様の状況やニーズに合致した内容となるよう、見直しを行っていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2	常勤職員で意見を出し合い活動プログラムの立案を行っている。非常勤職員からの視点も積極的に取り入れ、多様なプログラムの提供へつなげていく。 【意見等】必要に応じ相談していると感じる。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	季節や行事に因んだ活動を取り入れている。お子様の発達段階や特性に合わせ、プログラムの内容を柔軟に見直していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	個別活動と集団活動それぞれにおいて必要な発達支援を考慮して組み入れている。令和6年度より、専門職による個別支援を開始している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	毎回、業務前ミーティングを行い、活動プログラムの進め方やお子様の状況等について、共有している。各プログラムのねらいや目的等も明確に伝えるようにしていく。 【意見等】打合せはある。次回へ向けての振り返りがあるとより良い。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	4	送迎業務もあり、当日分については常勤職員のみでの振り返りとなっているが、翌日支援開始前までには全職員に共有している。 【意見等】・記録し共有している。・必ずその日のうちにできているわけではない。・時間がない中、要点はできていると感じる。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1	日々の記録は行っているが、お子様の状況の記録にとどまっているものも多いため、今後、支援の検証という視点を盛り込んでいく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	2	6ヶ月ごとに職員で意見交換をしながらモニタリングを行っている。主に個別面談の中で保護者様に聞き取りを行い、その時々々の課題に対応した計画へと見直しを行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	2	「自立支援と日常生活のため充実のための支援・創作活動・地域交流の機会の提供・余暇の提供」の4つの基本活動のうち、地域交流の機会の提供については充分とは言えない状況である。今後は地域との連携を図りながら、機会を広げていきたい。 【意見等】地域交流については、学校の文化祭等に参加しているものの不足している。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	絵カードなどの視覚支援を活用することで、お子様自身が理解し選択・意思表示しやすい工夫をしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	2	主に児童発達管理責任者が出席している。 【意見等】電話で済ませることが多い。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	4	お子様の状況により必要があれば、連携を取っている。 【意見】充分とは言えない。出来る範囲で行っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1	学校との情報共有は行っており、必要があれば直接電話で確認している。 【意見】（学校迎え時に）先生に話しかけてその日の様子や近況を聞いたり伝えたりしている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2	必要に応じて、保護者様に了承を得たうえで情報共有している。 【意見】必要に応じて行っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2	移行後の事業所より依頼があれば、情報提供していく。 【意見】必要に応じて行っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4	必要に応じて、相談することがある。定期的に相談できる場の設定があるとよい。 【意見】必要に応じて行っている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4	地域のイベント等に参加することはあるが、他のこどもとの直接の交流機会は少ない。体制が整えば検討したい。 【意見等】不明。機会の設定が難しく行えていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4	参加していない。今後、意見や要望を伝える場として機能するとよい。 【意見等】参加する機会を得ていない。

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	お子様の体調の変化、行動等についての気づきがあれば、送迎時(または電話にて)お伝えしている。保護者様からも家庭での状況を詳しくお伝えいただいている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4	お子様への対応について、個別に考えや意見をお伝えすることはあるが、研修形式では行っていない。 【意見等】 個別に相談をすることはあるが、研修等は行っていない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	2	ご契約時にご説明させていただいている。不透明については随時ご質問いただき対応している。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1	保護者様には個別面談等を通じて意向を確認している。お子様自身の意思についても、職員とのやりとりや観察を通して汲み取っていきけるよう努めている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	1	保護者様には6ヶ月ごとの個別面談の中で、個別支援計画についてご説明し同意をいただいている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1	主に電話等でご相談を受け、考えや意見をお伝えしている。他の専門機関等をご紹介するケースもある。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	6	現在のところ、保護者会は行っていない。先輩の卒業後の生活について話を聞いてみたいとのご要望もあるため、今後検討していきたい。 【意見等】 ・「五日制の会」等への参加も試みているものの、継続的な機軸の設定には至っていない。・放デイでの必要性があるのかどうかは疑問。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1	苦情解決へ向けてのフローチャートを掲示している。苦情をいただいた際には、全職員へ周知し、迅速に解決を図っている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	2	毎月おたよりを発行し、次月の活動予定と普段の活動の様子をお伝えしている。 【意見等】 ・おたより、ブログを通じて。・最近では行っていない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1	「個人情報使用同意書」「写真撮影および掲載に関する同意書」に基づき、取り扱いには細心の注意を払っている。 【意見等】 注意はしている。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	1	お子様の特性や発達段階に応じて、絵カードやサイン等を用いて視覚的にもわかりやすく伝えている。保護者様に向けては、HUGシステムに併せて、電話、お手紙等で、確実に情報伝達を行うよう心がけている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5	現在は、地域の皆様に招待する行事は開催していない。地域に開かれた事業運営の在り方を模索している。 【意見等】 安全管理等の観点から難しい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	事故防止・緊急時対応・防犯・感染症の各マニュアルを策定している。月1回の避難訓練のうち、年2回不審者対応訓練も組み入れている。 【意見等】 家族への周知はできていない。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	2	BCP(災害・感染)を策定し、会議を通じて必要な見直しを進めている。災害を想定した訓練には、お子様も参加し課題解消へ向けて取り組んでいる。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	2	服薬、てんかん発作の有無と対応方法については事前に確認し、職員間でも共有している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	現在、食物アレルギーのあるお子様は不在だが、通所される際には、医師の指示書を確認のうえ対応していく。 【意見等】 必要(ニーズ)に応じて。利用者に該当者がいない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	施設には飛び出し防止のための二重扉を、送迎用車両には置き去り防止装置を設置している。安全計画については、現在作成を進めており、今後必要な研修・訓練を実施していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	3	安全計画については、現在作成を進めている。より具体的な取り組み内容について、今後周知していく。 【意見等】 不明
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	2	ヒヤリハット事例集を作成し全職員で共有している。事案発生後できるだけ迅速に共有、対策を講じていく。 【意見等】 書き留めてはいるが、共有が充分とは言えない。	

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1	虐待防止のための研修を全職員に実施している。虐待防止委員会を設置し、虐待が疑われる事案がないか定期的に確認している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1	身体拘束適正化委員会を設置し、お子様の安全確保のため、切迫性・一時性・非代替性を満たした場面に限り行う場合がある旨、お伝えし了解をいただいている。計画に記載、当該お子様・保護者様には書面にてご報告している。